

2020年度通常公募_団体情報シート

団体名	公益財団法人原田積善会		団体web サイトURL	www.haradasekizenkai.or.jp
申請事業名	希望を未来へーこどもホスピスプロジェクト		申請受付番号	2003
主題	希望を未来へーこどもホスピスプロジェクト		申請事業の分類①	①草の根活動支援事業
副題	難病のこどもと家族が我が家のように過ごせる施設を全国に展開		申請事業の分類②	①-1 全国ブロック
			申請事業の分類③	-
優先すべき社会の諸課題選択科目				
領域①	1)子ども及び若者の支援に係る活動		領域②	2)日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動
分野①			分野②	
①	経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援		⑤	社会的孤立や差別の解消に向けた支援
②	日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援		-	-
-	-		-	-
領域③			領域④	-
分野③			分野④	-
-	-		-	-

申請事業概要

こどもホスピス全国展開のために、こどもホスピス関連事業を営む団体、および設立を目指して活動を行っている実行団体に資金的・非資金的支援を行い持続的な自立した事業化を後押しする。設立・運営には相当な人的・物的資源の投入が必要である。事業の資金面をみると、一か所のこどもホスピスの設立（土地・建物の取得、初期費用）で3-5億円、運営には開業前で年間20-30百万円、開業後には年間50百万円程度が必要となる。本事業は設立・運営に当たる実行団体の各々の事業フェーズに応じて、ゴールの確認とそれに至るプロセスの分析を行った上で、各フェーズにおいて当該プロジェクトを推進する起爆剤として最も有効と思われる方法で助成資金を投入する。実際にこどもホスピスの設立に携わった知見も取り入れて、実行団体への設立・運営のノウハウの提供、地元密着でのボランティア人材の確保、行政の支援、ローカルな企業等からの寄附・支援獲得のための様々な非資金的支援を行う。さらに、共同事業自体のゴールである中間支援組織としての機能を拡充・発揮し、全国規模の寄附・資金集めや小児緩和ケア人材の育成などを実施し、各地のプロジェクトを後押しする

団体組織情報

1	●設立・法人取得年月日	
	設立年月日	1920/7/6
	法人格取得年月日	1920/7/6
2	●団体概要	
	団体概要	助成の過半は社会福祉の分野である。格差拡大によるこどもの貧困やその連鎖、障害者や児童への虐待・差別などの社会課題を受け、若者やこどもへの支援団体への助成に重点を置いて活動を行っている。主たる助成先は、児童養護施設、障害者支援団体、自殺防止や虐待防止活動、こども向けレスパイトやこどもホスピスの運営団体などで、既往先のネットワーク、直接の要請、社協・共同募金会の紹介により全国に助成を行っている。
3	●代表者情報	
	代表者名	稲垣 裕志
	代表者の役職	代表理事
	代表者名 2	-
	代表者の役職 2	-
4	●役員	
	役員の数	15人
	(その内) 監事/監査役・会計参与の数	1人
	置いている監事のうち公認会計士または税理士の人数	0人
5	●事務局職員	
	職員・従業員合計	5人
	以下、職員・従業員の内訳	
	常勤・有給・有期	0人
	常勤・有給・無期	3人
	常勤・無給(有期・無期)	0人
	非常勤・有給・有期	0人
	非常勤・有給・無期	2人
	非常勤・無給(有期・無期)	0人
	事務局体制の備考	特になし
6	●資金管理体制	
	決済責任者、経理担当者、通帳管理者のうち、決済責任者と通帳管理者が異なること	問題なし
7	●区分経理・帳簿	
	1.必要な会計帳簿が備えられている	問題なし
	2.業務別に区分経理ができる体制である	問題なし
8	●監査	
	年間決算の監査を行っているか	③その他で実施

助成実績

1	前年度の助成件数 (件)	52先
---	--------------	-----

2	前年度の助成総額（円）	18673000
3	<p style="text-align: center;">助成事業の実績内容</p> <p>本会は助成活動に100年の歴史を有しており、それは我が国の社会福祉の歴史と重なっている。実際、戦前・戦後を通して助成活動を行っている財団は極めて珍しい。戦後の超インフレで財産を失うなど幾多の困難があったためである。本会は独立系でどこの企業にも属していない。特定の企業からの基金の拠出などは無く、政府からの補助金もなく、純粋に民間の共助を実践している財団である。創設当初から日本全国の団体に、既往先のネットワークや社協、共同募金会の紹介も活用して助成を行ってきた。また、創始者故郷（三重県松阪市）では、長年、当地の様々な地域創生活動を支援している。助成の原資を、これまで、創設者の出資金の運用益のみで賄ってきており、これは純粋に社会福祉を求めるといってプラスであったが、社会変化を受け、今後は寄附受入れも図って助成活動をさらに活発化する方向である。この結果、創設来の総助成は9千件超、助成額（時価）は320億円に上る。現在、当会は福祉、学芸・科学、災害支援、地方創生を柱に助成を行っており、その内、福祉分野が6割と過半を占める。行政と民間の狭間にあるニッチなニーズを捉えて、スピードと柔軟性をもって、様々な実行団体への資金支援を行うよう努力している。最近の助成は若者の支援に注力しており、児童養護施設退所後の自立支援、こどもホスピス等の医療関連、障害者の介護や自立支援、自殺や虐待の防止等多岐にわたる。その他、東京消防庁の救急事業への支援、日本学士院等の学術・研究への支援、最近の大規模自然災害の被災者支援にも注力する。最近十年の助成は平均して年間60件、助成額は30百万円である。当会は2020年に創設百周年を迎えることから、記念助成（40百万円）を行う予定で、その準備資金増しの関係からここ2年余りの助成はやや抑制気味となっている。</p>	

誓約確認等		システム入力
欠格事由に関する誓約	誓約	チェックあり
業務に関する確認	業務1.1の確認	チェックあり
	業務1.2の確認	チェックあり
	業務2の確認	チェックあり
	業務3	該当なし
	業務3の確認	チェックあり
個人情報保護に関する基本方針の同意	同意	チェックあり